茨城町　2024年度優良建設工事表彰

優れた施工に栄誉

茨城町は24日、2024年度町優良建設工事の授賞式を2年ぶりに挙行した。1社、六美建設（清水愼一代表取締役）が栄誉に輝いた。23年度に完成した建設工事87件のうち、工事成績、出来栄え、施工難易度、創意工夫を審査し、優れた1件（R4国補道改第3号道路改良工事、町道120号線＝中石崎地内）を選定。

受賞者あいさつでは、清水代表取締役が感謝と意気込みを述べた。

小林町長（左）と受賞者が記念撮影

ごあいさつ

茨城町長　小林　宣夫

涸沼や下石崎に町の中心部から行く大事な路線として整備されたことを大変うれしく思う。非常に重要な部分を施工していただいた。今後も、引き続き本町の道路をはじめとする道路行政について、卓越した技術を活用しながら本町発展のために尽力していただきたい。

R4国補道改第3号道路改良工事（中石崎（町道120号線））

六美建設株式会社

代表取締役　清水　愼一

茨城県東茨城郡茨城町長岡1798

TEL 029(292)0325　FAX 029(292)1616

受賞者あいさつ

六美建設

清水 愼一代表取締役

「受賞を契機として、微力ではあるが決意新たに、より一層努力していく」

受賞工事と受賞理由

工事名	R4国補道改第3号　道路改良工事
工事場所	茨城町大字中石崎地内（町道120号線）
請負業者名	六美建設株式会社
請負代金額	32,120,000円
工期	令和5年4月4日から令和5年9月30日まで
工事の概要	掘削工V 760.0㎥　置換工V 520.0㎥ 排水構造物工L 268.0ｍ　表層工A 2554.0㎡
推薦事由	**施工体制及び施工状況** ・元請けが率先して現場管理を行う等適正な現場組織体制を維持し、安全管理を徹底し施工しているのが見て取れた。 ・車道の横断や耕作地の多い路線であったが、周辺、地元に対し現場状況に応じて適切な対応を行い、工事に対する苦情が発生しなかった。 **出来形及び出来栄え** ・関係資料の作成整理は的確に表現され、社内規格値の達成率を明記する等、見やすく簡潔に作成されている。 ・設計図書に対する出来形の精度が高い。 **施工難易度、創意工夫及び社会性** ・県において隣接工区の工事を行ったが、両者の工程管理を密に行ったことにより、工程の遅延を防いだ。 ・残土運搬においても過積載防止に取り組んだ。 **地域貢献の有無及び内容** ・現場周辺の清掃や堆積土砂の撤去など、地域貢献に寄与した。

公共の安全確保促進

県警備業連盟 総会

井澤理事長

県内の警備業者が組織している「県警備業連盟」（井澤皐理事長）は6月27日、2024年度通常総会を水戸市内のホテルで開催した。24年度事業計画などが承認され、警備業の社会的経済的地位の向上と発展を促進させるため、全国警備業連盟および各都道府県警備業連盟と連携しながら政治活動を行い、社会公共の安全確保に寄与していく。

欠員だった理事と監事の選任が行われ、新理事に高橋靖子氏と宮川恵氏、新監事に宮田奈津子氏を選任。その後の理事会で、副理事長に及川瑞穂氏と島村明弘氏がそれぞれ新たに就任した。

あいさつで井澤理事長は「設立後6年目となった。深刻な人手不足や賃金上昇に伴う価格転嫁のための適正な警備料金確保に苦慮している警備業の厳しい現状を打開するため、『適正な労務単価の設定』など各方面に要望を行うなど、地道な政治活動を行ってきた結果、政党や県においても警備業を取り巻く状況の認識や理解が確実に深まっている。全国では本年6月1日現在、37都道府県に連盟が設立されており、計1913社が加盟している。また昨年5月に菅前総理等の呼び掛けで、自民党の警備業推進議員連盟が立ち上がり、萩生田光一会長を先頭に政府への予算要望などで労務単価の設定など各方面に要望を行っていただいている」と紹介。

「国を挙げての賃上げの中、労務費等の上昇分を適切に価格転嫁ができていない警備業種の一つである警備業の経営者にとって、適正な警備料金を確保するための絶好の機会と捉え、思い切った価格交渉を行ってまいりたい」と述べた。

来賓として、青山幸恭全国警備業連盟理事長の代理で堀口和久事務局長があいさつした。

総会後には懇親会を開催した。来賓の自民党県支部連合会の海野貴会長や公明党県本部の高崎進本部長、田所嘉徳衆議院議員、石川昭政衆議院議員、加藤明良参議院議員、県議会の舘静馬議員、木本信太郎議員、高橋靖水戸市長があいさつし、連盟の活躍に期待を寄せた。

◇

県警備業連盟の役員体制は次の通り（敬称略、順不同）。

◆理事長＝井澤皐司（水戸警備保障代表取締役会長）

◆副理事長＝及川瑞穂（ALSOK茨城代表取締役社長）、島村明弘（日警代表取締役社長）

◆会計責任者＝佐藤八郎（ジェイエスケイ代表取締役社長）

◆会計責任者の職務代行者＝加藤しづい（ワーゼン代表取締役）、小山田久人（常盤警備保障代表取締役）、小保内男（新安全警備保障代表取締役社長）、宮川恵（FUYOU代表取締役）、新任）、高橋靖子（綜合警備保障茨城支社長、新任）

◆監事＝清水寿美（日新警備保障代表取締役）、宮田奈津子（茨城警備保障代表取締役、新任）

総会では24年度事業計画を承認した

懇親会には多くの議員が駆け付け、乾杯をした

茨建協

上月氏、見坂氏を推薦

理事会　つくば開発が入会

石津会長

県建設業協会（石津健光会長）は2日、理事会を水戸市の県建設技術研修センターで開催。来年の第27回参議院議員通常選挙で、茨城選挙区の候補として上月良祐氏を、比例代表（職域代表）の候補として見坂茂範氏を推薦することを決定した。

また、つくば開発（つくば市、吉田達也代表取締役、土浦支部）の新規入会を承認した。

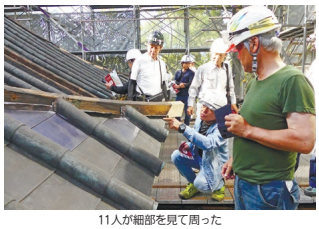
石津会長はあいさつで、成立した第3次担い手3法について「運用を注視し、必要があれば要望へ提言してまいりたい」と指摘。

また「地域の安全・安心を守るという社会的使命を継続して果たしていくためには、まずは会員企業が適正な利潤を確保し、将来にわたる経営基盤を強化することが不可欠」と強調。

そのうえで「担い手の確保・育成、働き方改革の推進、インフラ分野のDXへの対応など」を進めなければならない。4月からは時間外労働の上限規制が適用された。専門工事業や建設関連団体と連携し、乗り切っていきたい。今後も課題解決に向けた対応を働きかけてまいりたい」と述べた。

笠間稲荷神社を見学

県板金工業組合　伝承会で技術吸収



11人が細部を見て周った

参加者で記念撮影

野溝理事長

塙権宮司

文建協の江見氏

県板金工業組合（野溝年成理事長）の2024年度第2回伝承会および1級技能士フォローアップセミナーが6月29日、開催された。組合員11人が笠間市の笠間稲荷神社を訪れ、施工中の本殿保存修理工事を見学した。

伝承会は、伝統技能を後世に伝えるために昨年度から開催。第1回は4月に吉田山墓地を見学している。

まず、笠間地区建設高等職業訓練校で知久貴副理事長が講師となり、「銅板屋根構法（マニュアル）」を参考に座学を開いた。そして笠間稲荷神社に移動し、ご祈祷を受けたあと、本殿屋根の工事現場を訪問。

笠間稲荷神社の本殿は、1860年ごろに建立。1988年には国の重要文化財に指定された。2021年に軒下に水染みが発見され、屋根の全面的な修繕工事が必要となったため、2022年1月から修理工事が行われている。施工者は魚津社寺工務店（名古屋市）。

笠間稲荷神社の塙敬吉権宮司は「当社は1350年の歴史ある神社。この工事はおごそかから始まり、来年3月末まで行われる。このような大規模な工事は創建以来初めて。今後100年以上はないと思う。近くで見て感じてほしい。見たことを仲間に伝えていただきたい」と話した。

その後、設計監理を担った文化財建造物保存技術協会の江見歩氏の案内で屋根まで上り、銅本棒葺きの修理現場を見て周った。

見学後、野溝理事長は「なかなか屋根の近くまでいって触れることはないので、本当に良い機会となった。屋根材の厚みの違いを手で触って感じられた（この体験は）今後われわれの仕事にプラスとなるはずと」と述べた。

電子版　ツイッター

ネット上で最新情報発信中

株式会社日本工業経済新聞社 水戸支局

http://www.nikoukei.co.jp/mito/